

小・中・高校生向け医療・介護の出前学習について

① 令和元年度の実施内容

主に90分の授業の中で、2～3職種が自分の仕事についてスライドを用いて説明、その後、簡単な仕事体験を行った。

毎回、オープニング（全体会）で医療介護連携についてのリーフレット配布し、病院や地域で様々な医療介護職が活躍していることを説明した。

依頼した学校からは、将来の職業選択につながるキャリア教育としての効果はもちろんのこと、命を支えるということについて学んだり、地域で一つのチームとして医療介護連携に取り組んでいることも合わせて学ぶことができ、とても良い機会だったと概ね高評価だった。



② 今後の方針

医療介護人材育成としてのキャリア教育を進めるほか、講義の中で、かかりつけ医の重要性や、医療の適正受診などの内容についても触れていくことにより、子どもたちからの医療・介護についての関心を高めていきたい。

また、保護者や地域住民への啓発の機会でもあることから、PTA学年行事や授業参観などへの積極的な利用を進めていきたい。

なお、高齢者支援課でも同様の介護人材育成の取り組みを来年度から予定していることから、当事業と合同で開催していきたい。



夜に急な病気がけがで、すぐに救急車を呼ぶべきか、医療機関を受診すべきか、迷ったときに使ってください。

相談時間
毎日午後7時から
翌朝午前8時まで



医療・介護の出前学習

医療・介護の専門職があなたの学校に訪問します



本学習は、医療・介護についての知識、医療・介護の仕事、いのちの尊さなどについて学び、将来に役立てていただくことを目的に実施しています。

学校側の講師謝礼の負担はありません。
まずはお気軽にお問い合わせください。

● プログラム

A. 講話+職業体験 45分～90分程度

講師の仕事の話を通じて医療・介護を学び、簡単な職業体験を行います。

B. 職業講話 30分～45分程度

講師の仕事の話を通じて医療・介護を学びます。

● 申込期間 令和2年3月1日～令和2年5月15日

- ・別紙申込書によりお申し込みください。
- ・希望日時が未定の場合も期間内にお申し込み願います。
- ・日程を調整させていただく場合がございます。

● お問い合わせ 新潟市在宅医療・介護連携センター

TEL 025-240-4135 FAX 025-247-8856

メール renkei-center@med.email.ne.jp

(新潟市担当課：保健衛生部地域医療推進課 025-212-8018)



医療・介護の出前学習は新潟市が新潟市在宅医療・介護連携センター、新潟市在宅医療・介護連携ステーションに業務実施を委託しているものです。

○お申込みから当日まで

申込書にご記入の上、FAX・メール・郵便にてお申し込みください。

追って担当者より打ち合わせの日程についてお電話させていただきます。

↓

担当者が学校へ打ち合わせに伺います。ご希望の内容を詳しくお聞かせください。

↓

こちらで講師を選定してプログラムを作成し、状況をお知らせいたします。

↓

当日、担当者と講師がセミナーに必要な道具を持参して学校に伺います。

○ Aコース 当日の流れ（90分 医療職1コマ・介護職1コマ）

概要	基本となる内容	標準時間
オープニング	地域における医療と介護について学ぶ	10分
職業講話（医療）	講師がスライドを用いて自分の仕事を説明（どんな仕事をしているか。仕事の喜びや苦労など）	20分
職業体験（医療）	職種に応じた職業体験	15分
休憩・移動など	教室移動もしくは講師交代	5分
職業講話（介護）	介護の魅力を伝える動画の鑑賞、講師がスライドを用いて自分の仕事を説明（どんな仕事をしているか。仕事の喜びや苦労など）	35分
まとめ	感想発表など	5分

○ Bコース 当日の流れ（45分程度 医療または介護職1コマ）

概要	基本となる内容	標準時間
オープニング	地域における医療と介護について学ぶ	10分
職業講話	講師がスライドを用いて自分の仕事を説明（どんな仕事をしているか。仕事の喜びや苦労など）	30分
まとめ	質問・感想発表など	5分

○出前学習講師について

医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、放射線技師、介護福祉士、行政職員など

～保護者や地域の方も一緒に参加できます～

P T Aの学年行事や授業参観など、保護者参加のイベントにもご活用できます。

（内容についてはご相談に応じます）

医療・介護の出前学習 参加者の感想

医療や介護の仕事には、たくさんの専門職があってみんなで地域を支えていることが分かりました。(子ども)



患者さんと接するときは、同じ目の高さになる、やさしく声をかける、いつも笑顔など、お医者さんや看護師さんは患者さんのことをとても考えていることが分かりました。(子ども)

医師や看護師、薬剤師も患者さんの家を訪問したり、地域で活動したりするという話を聞いてびっくりしました。(子ども)



お医者さんは「人の役に立ちたい」と思っているから大変でもやさしくしてくれるんだと思いました。(子ども)

脈拍を測ったり、聴診器で心臓の音を聴いたりなど、普段経験できないことができてよかったです。内臓の音はとても不思議な音でした。(子ども)



看護師さんの話を聞き、少し看護師という職業に興味を持つことができました。(子ども)

薬は正しく使えば薬だけれど、間違えると毒になります。使い方間違えないよう注意しようと改めて思いました。(子ども)

これをきっかけに土日に病院や医者のことを調べたりしました。(子ども)

介護は「やってあげる」ではなく、「寄り添う・手伝う」仕事で、本人が楽しく暮らせるように一緒に考える仕事なんだなと思いました。(子ども)



仕事の楽しさややりがいを知る中で、大人になることへの希望を持つことができたのではないかと思います。(先生)

リハビリの授業でスポーツや運動の大切さがわかりました。(子ども)

仕事の説明だけでなく、命を支えることについて、人とのコミュニケーションの大切さ、困っている人への支援のしかたなどについて講師のお話から学ぶことができました。(先生)

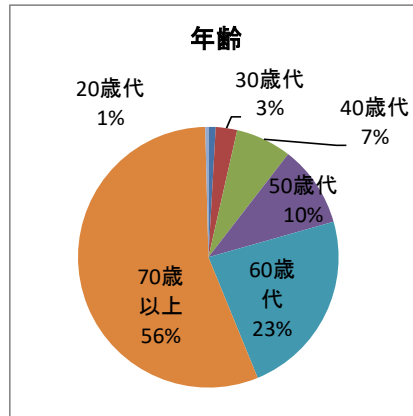
区民公開講座 アンケート結果

対象: 令和元年度アンケートを実施した研修会(10回)

アンケート回答者: 534人

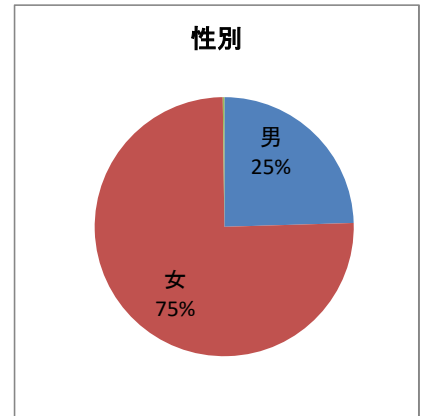
年齢

20歳代	5
30歳代	14
40歳代	37
50歳代	54
60歳代	124
70歳以上	298
未記入	2
計	534



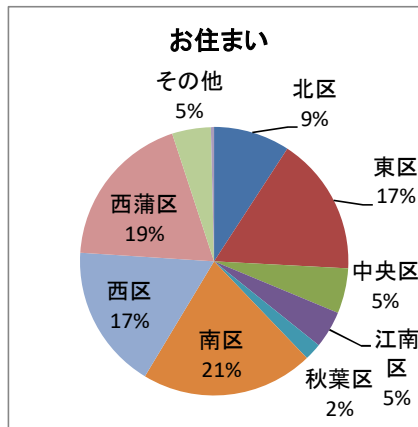
性別

男	131
女	402
未記入	1
計	534



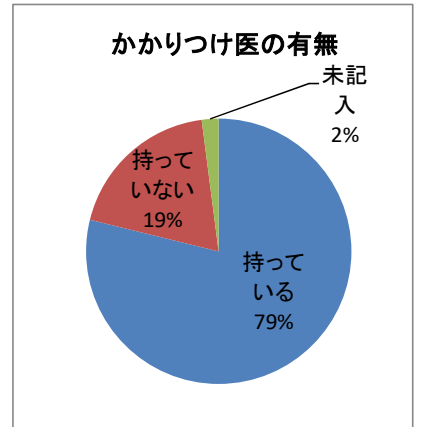
お住まい

北区	49
東区	89
中央区	29
江南区	24
秋葉区	11
南区	111
西区	93
西蒲区	101
その他	25
未記入	2
計	534



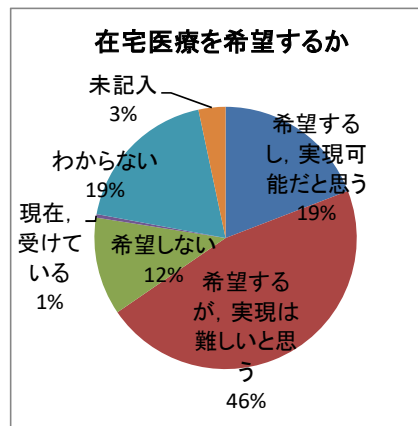
かかりつけ医をもっているか

持っている	421
持っていない	102
未記入	11
計	534



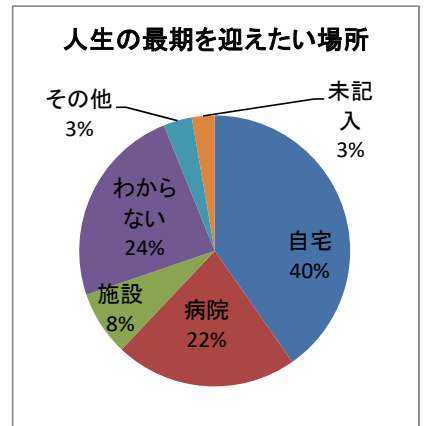
在宅医療を希望するか

希望するし、実現可能だと思う	46
希望するが、実現は難しいと思う	111
希望しない	29
現在、受けている	1
わからない	45
未記入	8
計	240



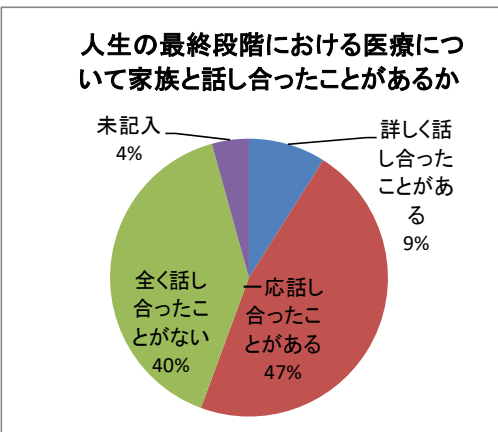
人生の最期を迎えたい場所

自宅	224
病院	121
施設	43
わからない	134
その他	19
未記入	15
計	556



人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがあるか

詳しく話し合ったことがある	48
一応話し合ったことがある	249
全く話し合ったことがない	214
未記入	23
計	534



R1区民公開講座 参加者の感想(抜粋)

もしもの時に備えて～知っておこう！医療や介護のしくみと人生会議（令和元年7月10日 西蒲区開催）

- ・ 高齢者にとっては大切な話である
- ・ こんな話は時々あったら良い。
- ・ 体験談は良かったです。
- ・ 大変よい研修会でした。
- ・ 妻を介護の日々なので大変参考になった。
- ・ 母の在宅介護をした時を思い出しました。母は家で亡くなりました。静かな最期でした。本人の希望が叶えました。
- ・ 良い話が聞けてとっても良かった。今後役に立ててみようと思う。

私らしく生きるために 知っておきたい健康と医療、3つのステップ（令和元年10月5日 東区開催）

- ・ 自分自身の健康を改めて考えさせられました。日常の生活の注意点をたくさん教えて頂きました。
- ・ 今の医療の現実がわかって勉強になりました。今後このような講座があったら参加したいです。
- ・ 人生会議について初めてきくことができました。
- ・ 脳卒中は新潟市にとって身近な病気であると思う
- ・ 今まで死を考えたくなくて、話し合った事がなかったが、一度家族で話し合ってみようと思いました。
- ・ 東区の状況課題から脳卒中の現状や興味のある在宅医療まで一般的な講義で、大変参考になりました。
- ・ 私らしく生きるために、改めて考える良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・ 70歳に入って思うことは、今は元気ですがいずれは人様のお世話になります。その時の為にも、お話、とても勉強になりました。
- ・ 現代医療のあり方、考え方、沢山を学ぶことが出来ました。リビングウィル必要かもしれない、でもさみしくなりました。
- ・ とてもわかりやすいお話で大変良かったです。もしもの時のお話は深く考えさせられました。
- ・ 家族とじっくり話し合いたいと思いました。

人生の終わり、一緒に考えませんか？～折れない心で人生の最後まで～（令和2年1月13日 南区開催）

- ・ 機会を見つけて、人生最期について話をしないといけないとつくづく思った。
- ・ 講演のテーマがとても良かった。独居や高齢者世帯が増えていったら在宅で出来るだけ最後まで生きられるようにしていくには…。
- ・ 傾聴という言葉を大切にしましたが、支えあうことの大切も具体的事例を通して判り易く学ぶことが出来ました。
- ・ 自分の人生締めくくりをどう過ごすか、話し合っていきたい。
- ・ ばあちゃんは在宅で看取ってやろうと決心しました。
- ・ 末期がんの知り合いがいます。自分がどうあったらいいか考えさせられました。思いを聴きたいと思います。
- ・ 夫妻二人暮らしだが、お互い医療にたよらない生活であるが、近い将来必ずおとずれる課題であるので、お互いの最期の迎え方を話し合ってみたい。
- ・ 私の母、主人の母がいた時、今日の講演で話を少しでも聞いていたら接し方が少しは違ったと思う。時々行ってただ1日過ごしていただけたような気がするもう少し寄り添えたかも。
- ・ 12月に母が亡くなり、もっと早くお話を聞いていれば良かったと思いました。私の中で母への見送り方に悔いが残り、心の整理がつかない状態です。でも本日お話を聞いたことで、今後にかして人のお役に立ちたいと思っています。本当にありがとうございました。



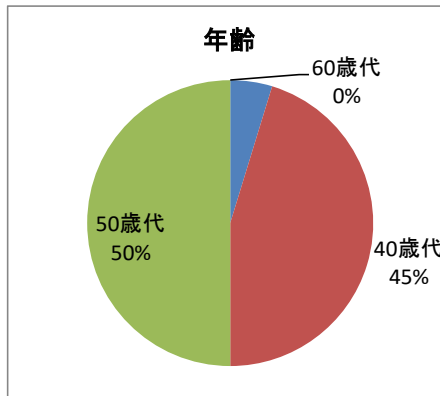
事業所向けセミナー アンケート結果

対象: 令和元年度アンケートを実施した研修会(4回)

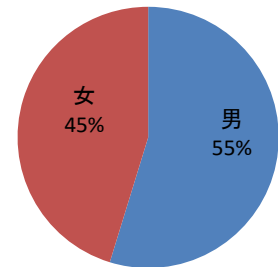
アンケート回答者: 42人

年齢

30歳代	2
40歳代	19
50歳代	21
60歳代	0
70歳代	0
計	42



性別

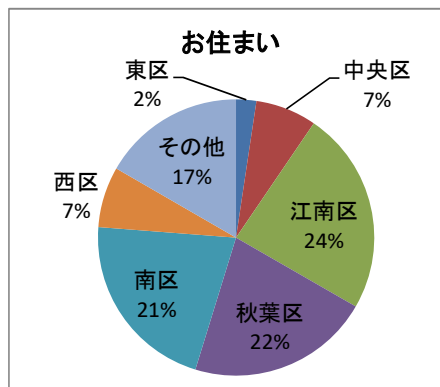


性別

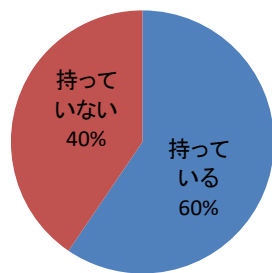
男	23
女	19
計	42

お住まい

東区	1
中央区	3
江南区	10
秋葉区	9
南区	9
西区	3
その他	7
計	42



かかりつけ医の有無

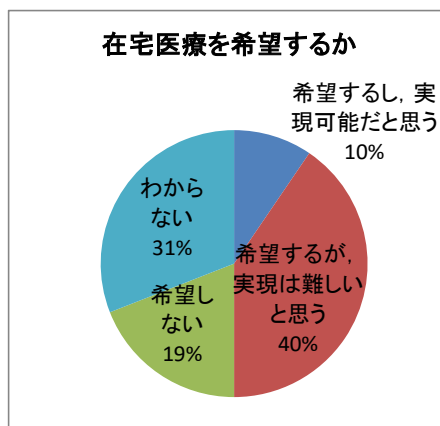


かかりつけ医をもっているか

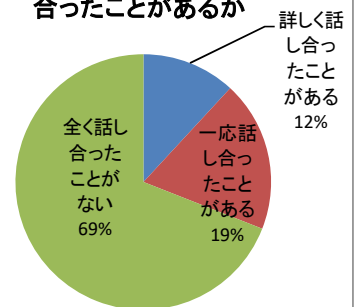
持っている	25
持っていない	17
計	42

在宅医療を希望するか

希望するし、実現可能だと思う	4
希望するが、実現は難しいと思う	17
希望しない	8
現在、受けている	0
わからない	13
計	42



人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがあるか



人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがあるか

詳しく話し合ったことがある	5
一応話し合ったことがある	8
全く話し合ったことがない	29
計	42

<感想>

- ・ 全く知らなかった情報を聞いて良かった。
- ・ 自分で考えすぎない事が良くわかりました。
- ・ かかりつけの医師を決めておきたいと思えます。
- ・ 今後家族の話し合いが必要である。
- ・ 定期的に行っていただきたい。
- ・ 金額面の話をもっと聞きたい。
- ・ 次回同じ内容でもかまわないので受講したい。
- ・ 事例的な内容やその後の対応。その後の流れなどが聞きたい。
- ・ 今後必要かと思ひセミナーに参加しました。介護休暇の取り方がよくわからなかったので話が聞いて参考になりました。
- ・ 困った時に相談できる場所があり、対応してもらえ場所がある事がわかり安心しました。
- ・ 実家の両親が要介護者で、ケアマネさんやデイサービスを利用させてもらっていますが、実家の妹にまかせっきりのため、自分でもしもの時の手続きなど不安でしたが、そのための休暇でいいんだと思いました。
- ・ 介護について今後親と話していくための良い機会を与えてくれた。
- ・ このような機会がないと、興味を持たず、知ることも無いままになっていたかもしれない。



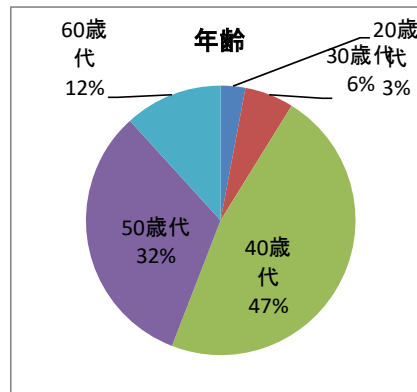
働く人のための医療・介護セミナー アンケート結果

対象: 令和元年度アンケートを実施した研修会(3回)

アンケート回答者: 35人

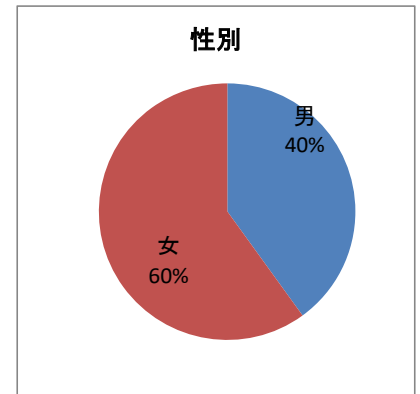
年齢

20歳代	1
30歳代	2
40歳代	16
50歳代	11
60歳代	4
70歳以上	1
計	35



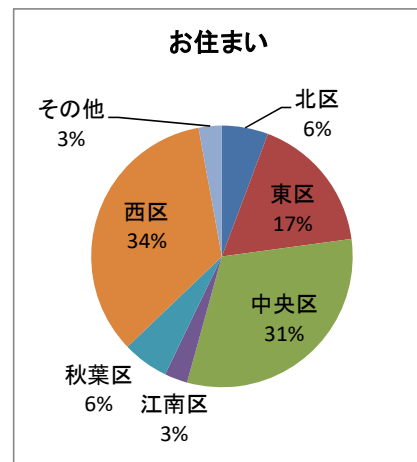
性別

男	14
女	21
計	35



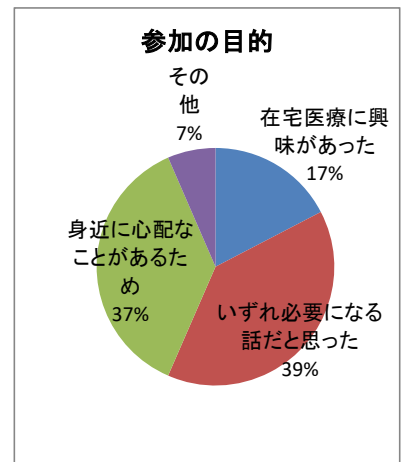
お住まい

北区	2
東区	6
中央区	11
江南区	1
秋葉区	2
西区	12
その他	1
計	35



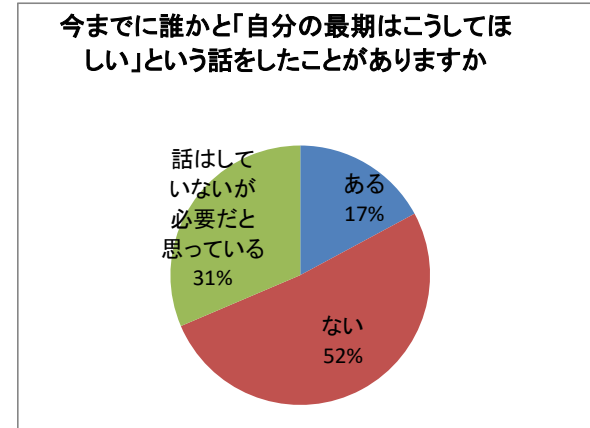
参加の目的(複数回答)

在宅医療に興味があった	8
いずれ必要になる話だと思った	18
身近に心配なことがあるため	17
その他	3
計	46



今までに誰かと「自分の最期はこうしてほしい」という話をしたことがありますか

ある	6
ない	18
話はしていないが必要だと思っている	11
計	35



<感想>

- ・ 介護素人にはとてもわかりやすい内容でした。ありがとうございました。
- ・ あっという間のセミナーでした。30代～50代はセミナーを受講する機会をもっと増やすべきだと思いました。
- ・ 今まで何もわからなかったのですが、地域包括支援センターやケアマネジャーと相談することがとても大事だと判りました。サービスを利用して賢く介護したいと思いました。
- ・ お話とても分かりやすく、全体像が理解できました。ありがとうございました。
- ・ 地域包括支援センターの存在を改めて知ることができました。役に立ちました。
- ・ 自分の両親はまだ健康だが、今回聞いてとても参考になった。元気なうちに聞いておくべきだと改めて実感した。とても内容が分かりやすかったです。
- ・ とても分かりやすく初心にかえりました。ありがとうございました。
- ・ 介護メインの説明だったので、もう少し在宅医療(訪問診療? 訪問看護? 看取りなど)についてお聞きできるとよかったです。地域包括の数は新潟市は足りているの?
- ・ 在宅医療について細かく説明していただき、とてもためになりました。ありがとうございました。